

野田市教育委員会定例会会議録

◇日 時 平成29年8月23日（水）午後1時30分開会 午後2時57分閉会

◇場 所 野田市役所低層棟4階委員会室

◇出席委員 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員

◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 伊藤公夫生涯学習部次長（兼）社会教育課長 中村利夫教育総務課長 岡田通洋社会体育課長 横島司青少年課長（兼）青少年センター所長 寺田幸生興風図書館長 桑原辰夫学校教育部長 長妻美孝学校教育部次長（兼）学校教育課長 矢部雅彦学校教育部参事（兼）指導課長

◇書 記 小関秀章教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇教育長の報告事項

・青少年課

（1）ペアレンタルコントロール講習会の結果について

・学校教育課

（1）平成29年度サマースクールについて

・指導課

（1）野田市イングリッシュ道場について

（2）児童生徒の諸活動について

（3）寄附について（図書2件）

（4）平成30年度使用教科用図書について

（5）全国学力・学習状況調査の結果について

◎東條教育長

ただいまから、平成29年8月教育委員会定例会を開会いたします。

本日、傍聴希望の方が2人いらしておりますので、これを許可いたしましたことを御報告いたします。

会議に先立ち、傍聴の皆様申し上げます。会議における議論につきまして、批評を加えたり、賛否を表明したり、私語等なさないよう御協力をお願いします。

また、本日は伊藤委員が欠席しておりますので御報告いたします。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、会議は成立しております。

それでは、会議を始めます。

本日の会議録署名委員を永瀬委員にお願いいたします。

会議録承認の件に入ります。

平成29年7月定例会の会議録について、確認をお願いいたします。

御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認め、7月定例会の会議録につきましては承認といたします。

本日、議案審議はございませんので、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問につきましては、報告事項の説明終了後に一括してお受けしたいと思います。

なお、追加報告として指導課から「全国学力・学習状況調査の結果について」を予定しておりますが、公表日時が8月29日火曜日の午後5時以降となっておりますので、非公開で行います。

それでは最初に、青少年課から報告事項をお願いいたします。

青少年課長。

◎横島青少年課長

青少年課から1点、ペアレンタルコントロール講習会の結果につきまして御報告させていただきます。

報告事項の1ページになります。

去る8月4日、野田市保健センター3階大会議室におきまして、午後2時から午後3時30分まで、千葉県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課情報セキュリティアドバイザー、星野和彦氏を講師に招きまして、ネットトラブルの現状について講演会を開催いたしました。

当日は、SNSの普及につきまして、また、年々スマートフォン等の普及によるトラブルが様々に変化しておりますので、子供たちに携帯電話等を買与える保護者の責任は重大であるということを確認していただきました。また、大人がインターネットのリスクを学び、子供たちを注意、見守り、指導監督する管理能力がとても重要であること、購入する際にルールを決めて守らせなければならないことが参加された皆さんに伝わったと思います。

以上でございます。

◎東條教育長

続きまして、学校教育課からお願いいたします。

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

それでは、学校教育課所管の事業について御報告申し上げます。

平成29年度サマースクールにつきまして御報告申し上げます。

資料は2ページとなります。

今年度は、7月27日に開催させていただきました。当日は、時折小雨の降る中でしたが、関係者の協力の下、全ての活動を予定どおり、無事に行うことができました。

具体的な内容ですが、開校式の後、前半は南部梅郷公民館において、栄養士部会による料理教室、養護部会による保健指導、野田市医師会の岡田先生と神田先生による生活習慣病についての講演会、そして体育部会によるレクを行いました。

後半は南部小学校に移動し、プールにおいてインストラクターの屋嘉部先生を招いてのアクアビクス、そして閉校式を行い、終了となりました。

今年度も、野田市学校保健会会長の岡田一芳先生には、開校式、閉校式での御挨拶を始め、保護者への保健指導等、一日中丁寧な御指導いただきました。

児童や保護者からの感想は9月に提出していただくことになっておりますが、保健指導や閉会式での子供たちの意見発表では、楽しく体験ができた、違う学校の人と楽しくできた、来年も参加したいと前向きな発表が多数出されました。

また、ここ数年、各学校の協力により参加児童のリピーターが見られ、より主体的な学びが見られました。参加児童の合計は34名で、料理教室の様子を見てみると、適正な人数であったのではないかとこのように思っております。

今後も、サマースクールでの学びの楽しさや、焼きカレーパンやアクアビクスを始めとした企画の面白さを更にアピールしてまいりたいと思っております。しかしながら、今回、運動量測定として万歩計の利用において、途中不具合から万歩計がリセットされてしまい、そのことにより該当児童が不調を来し、帰宅してしまうという事案がありました。ただし、保護者の方も参加しておりましたので、その様子については御理解をいただいております。万歩計の利用等につきましては、測定時間を限定するなど含め、今後の取扱いについて再度検討してまいりたいというふうに思っております。

報告は以上でございます。

◎東條教育長

続きまして、指導課からお願いします。

指導課長。

◎矢部指導課長

指導課所管の事業等につきまして報告申し上げます。

野田市イングリッシュ道場について申し上げます。

資料は3ページでございます。

今年で3年目を迎える野田市イングリッシュ道場につきましては、夏休み期間に中央公民館を会場として、中学生が英語で自己表現する意欲や、自ら英語学習に取り組もうとする態度を養うため実施しております。7月31日及び8月1日に開催した3年生の道場には、前年度の2年生の時に参加した10人を含む16人が参加し、8月3日及び4日に開催した2年生の道場には25人が参加しました。

期間中は、生徒を3人から6人までの人数で分けたグループごとにALT、外国語指導助手ですが、これを1人ずつ配置して、英語によるコミュニケーション活動を集中して行いました。参加した生徒たちからは、楽しく英語に触れることができたとの感想が寄せら

れ、この道場への参加を通して、生徒自身がリスニング力やスピーキング力の向上を実感したことで、今後の英語学習への意欲付けができました。

職員への研修としては、来週8月28日月曜日に、英語教育小中連携研修会を実施いたします。午前中に小中連携を踏まえた新学習指導要領についての理論研修を実施し、午後は小中学校別の研修と、市内4グループに分かれて小中連携の英語教育への情報交換を行います。

次に、児童生徒の諸活動について報告申し上げます。

資料は4ページでございます。

陸上では、関東中学校陸上競技大会に出場した岩名中学校3年、鈴木玖琉君が、110メートルハードル決勝に進出し、14秒60のタイムで5位でした。また、岩名中学校3年、石居秀斗君、鈴木玖琉君、阿部新君、永井嵩人君が、共通4×100メートルリレー決勝で43秒74のタイムで3位でした。

8月20日から22日まで、熊本県を会場に開催された全国中学校陸上競技大会には4名の生徒が出場いたしました。

岩名中学校3年、鈴木玖琉君が110メートルハードル、岩名中学校3年、岡安正樹君が共通走り高跳び、南部中学校3年、新野遙さんが女子共通800メートル、南部中学校3年、山本朋香さんが女子共通800メートルに出場しました。ハードルの鈴木君が準決勝進出との報告を受けております。

水泳では、5名の生徒が関東大会に出場しました。

南部中学校2年、渡邊彩華さんが100メートルと200メートル平泳ぎ、南部中学校1年、湯川涼風さんが個人メドレー200メートル、南部中学校2年、久保百合美さんが自由形400メートル、南部中学校2年、張田一気君が個人メドレー200メートル、岩名中学校3年、松本茉莉さんが自由形100メートルに出場しました。

関東大会には、さらに、北部中学校2年、沖津悠斗君が卓球男子シングルス、第二中学校2年、阿部晶君、木村拓夢君、竹原翔也君、中田大地君、峯島陸君、3年、藤枝夏王君、松村宙樹君がバドミントン男子団体戦に出場しました。

音楽関係では、本日配付いたしました資料を御覧いただければと思います。

千葉県吹奏楽コンクールで、岩名中学校がB部門で8月11日に本選に出場いたしました。また、8月22日に行われた第16回千葉県小学校バンドフェスティバルにおいて、東部小学校が県代表として東関東大会に出場することになりました。また、同日行われた第30回千葉県マーチングコンテストにおいて、東部中学校がフリースタイル部門で、南部中学校がコンテスト部門で県代表として、東関東大会に出場することになりました。

次に、図書の寄附について2点報告申し上げます。

これは事前にお配りした資料です。

1点目、資料の5ページでございます。

過去に関宿中学校で養護教諭として勤務なさっていた内田フミ様から、生徒の読書活動推進及び養護教諭の保健指導に役立ててほしいと、224冊、43万4,928円相当の図書を御寄贈いただきました。御寄贈いただいた図書は、関宿中学校図書室に書架を設置し、生徒が手に取りやすい環境を整備いたしました。夏休み及び9月以降の読書活動推進に活用してまいります。保健関係図書につきましては、初任の養護教諭の研修図書として活用させていただいております。9月議会の市政一般報告にて報告いたします。

2点目、資料6ページでございます。

龍ヶ崎市のタカラビルメン株式会社様から、野田市目吹にあるシナネンホールディング

ス株式会社様を通して、シナネングループ創業90周年の記念としまして、同社が社会貢献事業として開催している作文コンクールの中から選定した作品をまとめた書籍、「からっぽ たいくつ どうようはひまだ」を31冊御寄贈いただきました。国語科の担当の先生を通して作文指導に活用してまいります。

最後に、資料にはございませんが1点申し上げます。

平成30年度使用教科用図書について報告申し上げます。

7月の定例会議で御決定いただきました平成30年度使用教科書についてですが、東葛飾西部採択地区協議会事務局が野田市であることから、松戸市と流山市の採択結果が事務局に届きました。いずれも野田市と同様の採択結果でありましたことを御報告申し上げます。この結果は、8月31日までは非公開であり、9月1日付けで3市の小中学校に、各市教委を通じて通知する予定でございます。

なお、来年度の教科書採択は、今年度と同じ特別支援教育に係る附則9条本に加え、中学校で新たに使用する「特別の教科 道徳」の教科書が初めて採択される予定になっております。

小学校の道徳に関しましては、新学習指導要領の全面改訂、これは小学校32年度、中学校33年度ですが、これを待たずに、平成30年度から今回採択された教科書を使用した授業が先行実施される予定でございます。

以上でございます。

◎東條教育長

この際、ほかに報告事項がありましたらお願いいたします。ございませんでしょうか。

それでは、ただいま報告のありました報告事項につきまして、質問等がございましたらお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

高橋委員さん。

◎高橋委員

ペアレンタルコントロール講習の件についてお伺いしたいのですが、過去3年、3回分の記録を見ますと、開催日が土曜、日曜、金曜日と、今年初めて平日に、しかも夏休みだということなのですが、この開催日については何か意図があるのでしょうか。それとも講師の都合でしょうか。その辺を教えてくださいませんか。

◎東條教育長

青少年課長。

◎横島青少年課長

昨年までは、民間の大学の先生に講師としてお願いしておりました。今年度につきましては、先ほど紹介したように、県警のサイバー犯罪対策課の方に講師をお願いいたしましたので、どうしても土日は無理だということで、平日になったという形になります。

以上です。

◎東條教育長

高橋委員さん。

◎高橋委員

ありがとうございました。

それぞれ開催日によって、この参加されている方たちの都合を考えると、大分違うだろうなというふうに思ったりしたものですから。ただ幸いなことに、保護者の皆さんが非常に熱心に、今年度について言えば、夏休みで恐らく子供が家庭にいたであろうと、そういう中で36名の保護者の皆さんが参加してくださったということは、いかに関心が高い事項

であったのかなということも推し量られるかなと。保護者の皆さんにとってみれば、子供のいない時の方が参加しやすいでしょうし、教員から見ると、今度は逆に平日でない方が参加しやすい、そういうふうなことがあって一長一短だなと思いながら、この曜日を変えられたのは、もしかしたらそういう意図があったの試行錯誤かなというふうなことも考えてみたものですから、そんな質問をさせていただきました。

いずれにしても、関心の高い項目だと思いますので、それぞれの講師の先生の都合、あるいは参加する側の意見、こういったものを把握していただいて開催日を決めていただければ有り難いかなというふうに思います。

以上です。

◎東條教育長

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

飯田委員。

◎飯田委員

幾つか、すみません、お願いします。

文化センターでいろんなイベントを開催なさると思うんですが、駐車場の問題で、文化センター利用者さんの車で市役所の駐車場が満杯に埋まってしまってしまうというようなことがあるのかどうか、過去においてそんなことがあったのかどうか。ちょっと気になって1点お伺いします。

それから、女性活躍について、政府も盛んに、確か2020年辺りに3割の管理職さんというようなことだったかと思うんですが、それを目標にしているということで、かつてもお伺いしたんですけれども、野田の委員会ではどのような状況なのか。もし数値目標等あるようでしたら、それも含めてお話していただければ。もし数値目標等を定めていらないのであれば、今後どのような方向にいかれるお気持ちなのか、分かる範囲で教えていただければ有り難いというのが2点目です。

それからあともう一つ、不登校のことでちょっと気になっていまして、夏休み期間中に不登校の児童生徒さんに何か対応なさっていらっしゃるのかどうか。もし対応なさったのであれば一例を挙げて、どのような状況なのか、少し教えていただければと思います。

ひとまずその3点を、すみませんけれどもお願いします。

以上です。

◎東條教育長

社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

まず、文化センターの駐車場の件について、私からお答えさせていただきます。

文化センターで本日、演歌歌手のコンサートがありました。駐車場が混んでいるということで、いろいろとご迷惑をかけています。文化会館の催物ですけれども、まず貸館の場合に、主催者からどの程度の人数が集まるのかというのをお聞きしております。人数が多い場合には、臨時の駐車場を借りていただくよう指導をしておるところでございます。

そのほかに市役所の駐車場、それから文化会館側の駐車場については、市役所営繕課に、例えばバスで出かけられるとき等は、事前に駐車場を何台使いますよという連絡が上がってきます。文化会館からも月間の予定表が上がっておりますので、何月何日にはどのぐらい駐車場が入っているということは、データとして共有しております。ただ、その中でお申込みがない中での発着所になっているケースもありますので、なかなか台数の把握等、

この辺は難しいところがあるのが現状です。

以上です。

◎東條教育長

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

それでは、2点目の管理職について学校教育課長です。

小中学校の管理職という視点からお話させていただきますと、昨年度末では野田市の方は、小中学校の校長、教頭を合わせまして8名が管理職ということで存在しておりまして、割合は12.7%でございました。ただし、今年度は年代構成のこともありまして、退職者が昨年度出たという要素もありましたので、今のところ6名、割合は9.5%と、若干数字が下がってしまいました。

ちなみに県につきましては、大体20%が一つ目途のようでしたので、野田市もそれを目標に人材育成を進めてまいりたいというふうに思っております。校長、教頭に次ぐポストで教務主任というポストがあるんですが、教務主任、あとは教育委員会の指導主事、これも管理職になる者が多くおりますので、そこに女性を積極的に登用している状況がございます。ですから、ここまた数年で増えてくるのではないかと、増やしていこうというような考えを持って進めているところでございます。

以上でございます。

◎東條教育長

では、3点目について。

◎桑原学校教育部長

では、不登校の件でございますが、7月の校長会で、不登校対策マニュアルの素案を指導課から提示してございます。各学校に長欠対策担当教員がおりまして、その人を通じて、このマニュアルがうまく機能するかどうか検証中でございます。今年度中にまずこれの策定をというのを進めておるところでございます。

また、今年もニュース、報道で出ておりますけれども、9月1日前後の長欠、不登校の自殺者数の増加ということもございましたので、今度の8月25日の校長会で、来週中に各学校の全欠、長欠の不登校児童生徒に対しては、担任を通じて必ず連絡を取るよう指示を出す予定にしております。

以上でございます。

◎東條教育長

飯田委員さん。

◎飯田委員

ありがとうございました。

部長さんがおっしゃったことにやっぱり私も尽きると思います。報道によりますと、その時期に急激に数値が上がる。そのことを非常に危惧していたものですからお尋ねしました。少し安堵しました。よろしく願いできればというふうに思います。ありがとうございました。

あと、すみません。駐車場の件ですが、苦情は上がってこないものなんですか。結構何とかなっているものなんですか。

◎東條教育長

社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

苦情がないことはないんですが、例えばこれだけの催物になりますと、開始時間までに間に合わなかったと、そういうふうなことを言われることもあるようには聞いております。一応、臨時駐車場に誘導するような形で主催者側にはお願いをしてあるのですが、距離が若干離れておりまして、青少年センターの向かい側というか、柳沢小へ行く途中なんです、そこからだと時間がぎりぎりの方だとちょっと間に合わない。そういうふうなことでの御意見をいただくことはあるように聞いております。

◎飯田委員

ありがとうございました。

と申しますのは、市役所の入口の受付に切符を渡す方がいて、同じ場所にもう一方いらっしゃるんですね。イベントの主催者なんではないかな。駐車場係みたいな方が。

◎東條教育長

駐車場ボックスの所ですか。

◎飯田委員

そのすぐそばにいらして、お二方いるんですね。ボックスの中にいつもの方がいらして、その手前にイベントの帽子をかぶった方がいらして。だからそういったことで苦情がなければいいな、トラブルがなければいいなと思ったものですから、お伺いしたまでです。ありがとうございました。

◎東條教育長

ほかにかがでしょうか。

永瀬委員さん。

◎永瀬委員

サマースクールに関してなんですけれども、この趣旨が生活習慣を見直すということだと思うんですが、小学校3年生以上を小学校4年生以上に今年変えたとおっしゃっていて、多分人数の問題だとは思いますが。私も正直どちらが良いのかちょっと迷うところなんですけれども、小4から急激に太るという子というのはそんなにいないわけで、幼少時、幼稚園の頃から、未就学時からの生活習慣や、正直保護者さんも含めての生活習慣が土台となって4年生、5年生、6年生となっていていっていると思うんですけれども、生活習慣を見直す場として、4、5、6年生を対象にした方が良いのか、それよりも4、5、6年生はもう出来上がってしまっているというか、生活習慣をなかなか変えられない年齢にもきていて、どちらかと言うと低学年の時期に保護者さんとともに見直す機会を作った方が良いのか、どちらが良いのかなというのが私の印象であります。

あともう一つが、関東大会、全国大会の結果を見せていただいて、たまたまかもしれないんですけれども、メインどころの陸上、水泳の結果が、全く同じ2つの中学校から代表者が出てくると。水泳部は多分そんなに存在はしてないと思うんですが、スイミングスクールの問題だと思うんですけれども、陸上に関してはやはり指導者の指導力の差が出ているものなのか、それともやはり小学校の頃から有望だった生徒がたまたま岩名中、南部中に入学したのか、そこら辺のところを教えてください。

以上です。

◎東條教育長

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

サマースクールについて、学校教育課長です。

御指摘ありがとうございます。委員さんがおっしゃるとおり、私どももこの小学校3年

生から4年生にするかといったところは、多分論議をしたところだと思うんですね。ただ、このサマースクールの本来の狙いが、ちょうど保護者の方にも来ていただいているんですが、基本的には子供たちに、生活習慣を見直そうというような働きかけ、意識付けをするというのが一番の狙いでしたので、そうするとやっぱり学習能力の差が3年生と4年生だと大きくありますので、今回については知識理解も含めて4年生以上の子に、おっしゃるとおり年齢階層が遅い部分があると思うんですが、でもこの4年生、5年生の段階で少しでも自分の生活を見直したり、また運動することや休養をすることも大事なんだということを理解させるのも大事ではないかなという趣旨の下で、4年生を中心にやらせていただいております。

ただ、先ほど報告させていただいたとおり、リピーターが少しずつ増えてきて、今回は34人のうち8人が2年連続、1人は3年連続来ている子がおりまして、今後もそういった子を中心にまた広めていきたいというふうに考えております。

御指摘いただきましてありがとうございました。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

陸上につきましては、岩名中学校、南部中学校に共通しているのは、小学校での下地が十分あるということでございます。南部中学校には専門の陸上の指導者がいたと記憶していますが、その指導者が更に伸ばしていただいているというふうに思います。逆に岩名中学校には専門の指導者がいないんですけれども、退職をしてクラブチーム等で指導している方の協力を得たり、それから顧問が外に生徒を連れて行って練習をさせたりという、その指導が子供たちに合っていて結果が残せているのかなと。もちろん子供たちの頑張りもありますけれども、そういうような状況で下地がある上で、その指導方法がたまたまかみ合った状態で、子供の力が更に伸びて結果が出ているのかなというふうに思います。

以上でございます。

◎東條教育長

ほかに何かございますか。

高橋委員さん。

◎高橋委員

野田市イングリッシュ道場について3年目を迎えるということで、御報告いただきました。その辺りについて自分の考え、質問も含めて述べさせていただきたいと思います。

先ほどサマースクールでもリピーターだという話がありました。このイングリッシュ道場でも10名のリピーターがいたと。素晴らしいリピーターの数だなというふうに思うわけですが、参加した生徒たちが楽しかったと、何をもって楽しいと感じたか、この辺を知りたいのと、また知らせていただければ有り難いなど。

意欲付けという目的なんです、恐らく中学校2年、3年になると意欲付けではないだろうと思うんです、現実には。目の前にぶら下がっていますから。だから、そういう意味での楽しさというのもあったのかなと。ましてや2020年には東京オリンピックがありまして、また英語力云々という話もございます。ですから、この参加した生徒たちがどういうふうに英語に親しんでいっているのか、追跡調査というんですかね。大変だと思いますが、是非そういう抽出する生徒だけでも構わないので、追ってみていかれたらどうでしょうかということが1点。

それから、生徒たちが楽しい活動であるというふうに踏んでいるのであれば、何らかの

自分にとって利益になるものがあつたんじゃないかなというふうに思うんですね。であれば、期間を2日と言わずにもうちょっと延ばせないのかと。大変夏休みに勝手なことを言っ
て申し訳ないんですが、担当される先生方には大変負担だとは思いますが、そういう
意味での検討も必要なのかなというふうに思うところでございまして、これは私の意見で
ございます。是非検討していただけると有り難いというふうに思います。答えは特に要り
ません。

それから2点目、ちょっと報告事項以外で質問よろしいですか。

◎東條教育長

どうぞ。

◎高橋委員

今、小学校でエアコンの設備の工事が盛んに行われていると思いますが、中学校では、
お陰さまで昨年度のうちに全て工事が終わって、本年度実際にエアコンを稼働させたんでは
ないかと思うんですね。夏休みに入ってから、夏だか梅雨だか分からないような天気
になってしまったんですが、夏休み前までの中学校のエアコンの稼働状況、まだはっきり
と押さえられてはいないかと思うんですが、聞こえてきているところで結構でございます
ので、どういう状況なのか、分かっていれば教えていただけますか。

以上です。

◎東條教育長

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

中学校のエアコンの関係でございまして、中学校のエアコンにつきましては、まず教育
委員会の方でエアコンの統一した運用基準というものを作成いたしました。そのエアコン
運用基準につきましては、実際に今年は6月12日から本格的な稼働を実施しておりまして、
その稼働の前にエアコンの稼働についての説明会といいますか、教頭会の方で運用基準に
ついての説明会を設けさせていただいております。

稼働の期間としましては、夏場の場合、6月中旬から9月下旬という形で基準の中では
定めておりまして、今年は6月12日から稼働しております。ただ、室温が28度というのが
一つの目安になっておりますが、こちらにつきましては、生徒の健康状態を考慮して、学
校長に判断を委ねているというところで運用を図っているところでございます。

6月、ちょうど梅雨前につきましては、30度とか暑い時期がございまして、その6月12
日前から幾つか問合せがございまして、当然その学校の子供たちの健康状態を考慮して、
学校長さんの判断で稼働していただいても結構ですよということでお話はさせていただ
いております。実際に稼働が始まりまして、複数の学校長の方から、エアコンが稼働をした
ことによって授業中の生徒の集中力が上がったというふうなお話を伺っているところで
ございます。

以上です。

◎高橋委員

ありがとうございました。

条件を設けるのは当然だと思います。28度、ただしこれはあくまでも基本的な考え方
であって、実情に応じてということでございますので、これも大変現実的に即しているかな
というふうに思っているところでございます。

今後このエアコンは、今度は暖房機に替わる可能性もあるんですよ。

◎東條教育長

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

冬場につきましては、現状暖房はストーブを使ってございまして、まずは、現在あるストーブを優先して使っていただくという形での運用です。

◎高橋委員

ストーブが壊れたらエアコンという話を聞いていますので、いつ壊れるかなというふう
に。要は、何を言いたいかというと、教室数、要するに普通学級なら普通学級のストーブ
の台数が足りなくなってきたときに、あの学級はエアコンを使っている、ここはストーブだよ
と。そういう状況が必ず生まれてくると思いますので、その辺をどう精査するか、考えて
いくか、この辺のところをおいおいと考えていつにいただいた方が良いのかなと。何年か
後にはストーブがなくなるだろうと思っていますので、今後検討していただければという
ふうに思います。

以上でございます。

◎東條教育長

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

御意見ありがとうございます。今後検討を進めていきたいと思います。ありがとうござ
いました。

◎東條教育長

ほかにいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

ないようでございますので、以上で教育長の報告事項を終了といたします。

続きまして、指導課報告の全国学力・学習状況調査の結果について報告をお願いする
ところですが、先ほど申し上げましたとおり、この件については非公開で行いたいと思
いますので、よろしくお願いいたします。

(以下非公開)